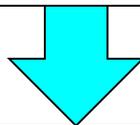


学校教育目標
探求・創造・共生

令和5年度学校経営方針(学力向上に関わる要点)
<ul style="list-style-type: none"> (1) 自己実現に努める生徒(学習等について、自分の意志で決められる自己決定能力の育成) (2) 主体的に学ぶ生徒(学習に対して、自らの意志や判断で決めて取り組む力の育成) (3) 励まし支え合い、互いに学ぶ生徒(互いに尊重し高め合える人間関係能力の育成)

指導の重点(各教科)
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習状況を踏まえ、「授業改善プラン」を立案し、指導・評価・支援の一体化を組織的に進める。 ・協働的な学習活動を盛り込み、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ・定期考査の前には学力充実期間として、学習意欲の向上を図る。 ・各教科において教材教具の充実、ICTの積極的な活用を進める。 ・数学では習熟度別指導を、英語では少人数指導を実施し基礎・基本の定着と個に応じた指導の充実を図る。 ・特別な支援が必要な生徒に対しては、個別指導計画を作成し、全教員で共通理解の上立った適切な指導を実施する。 ・朝読書を実施し、読書に親しむ習慣を付けさせ、読書活動の充実を図る。

指導の重点(総合的な学習の時間)
<ul style="list-style-type: none"> ・教科の指導内容との関連を図りながら、探求的な学習や課題発見と課題解決学習を取り入れ、自ら考え、行動できる力を育成する。 ・自ら設定したテーマに基づき、学校図書館やタブレット端末等を活用して情報を収集し、自分の考えをまとめ、プレゼンテーション等の活動を通して発表する力を養う。



授業改善に向けた具体的方策		
基礎的・基本的な学習内容の定着	発展的な学習	指導と評価の一体化
<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年数学の基礎クラスにおけるTT指導による机間支援、個に応じた指導の充実 ・放課後や長期休業中の補充学習を、数学科の教員とともに担当 ・長期休業中の学習室の開放、学習環境を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントやワーク、AIドリルによる発展問題の充実 ・学習指導要領の内容をさらに深めることのできる応用・発展的な教材の開発 ・入学試験を想定した発展問題の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種テストにより各生徒の到達度の把握と対応 ・指導と評価の一体化を目指した評価規準の明確化と評価説明会の実施 ・評価Cの生徒の分析と支援 ・評価方法に関する校内研修会の実施
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実	ユニバーサルデザイン、合理的配慮	家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数・習熟度別授業による個に応じた指導 ・ICT機器の効果的な活用とオンライン学習環境の充実 ・ICTを用いた多様な他者との意見共有による新たな価値観やよりよい学びの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室環境、掲示物や授業資料等にユニバーサルデザインを取り入れたものを採用 ・日々の授業支援やICTの活用支援、身辺整理等、支援が必要な生徒には支援員や補助員を配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開を通し保護者や地域に学習指導の状況を公開 ・学校ボランティアの活用 ・学校関係者評価・生徒評価の実施と情報提供の推進 ・PTA活動との連携、日常的連携と地域懇談の工夫